

山戸田区民会 会長挨拶

桜満開の季節を迎え新年度が始まりました。小中高生、社会人が新しく一歩を踏み出す事にお慶びの言葉を贈りたいと思います。

山戸田108戸340人(令和7年12月31日時点)昨年より若干減ではありますが、石橋地区、栃窪・花水地区に新しい仲間ができました。交流を図り親交を深めて頂きたいと思います。

区民会は、昨年に引き続き、地区の安全安心のため、防災訓練や健康ウォークなどの行事を開催して区民の皆様方の交流を図ってまいりたいと思います。皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

【区民会役員紹介】

会 長	八島 市蔵	幹 事	酒井 光洋
副 会 長	丹治 秀次	幹 事	小手森直夫
副 会 長	菅野 国雄	環境防災部長	菅野 慎一
事 務 局 長	菅野 喜美	健康福祉部長	丹治 ティ
幹 事	八島 禎幸	女 性 部 長	酒井 ヒトシ
幹 事	齋藤 祐一	会 計 部 長	小手森正嗣
幹 事	末永 利雄	副会計 部 長	安田 正二
幹 事	大橋 直之	監 事	酒井美千広
幹 事	菅野 睦子	監 事	酒井 敏行

末永広美さん

《35年目のラブレター》

「辛い」という言葉にひとつ線を加えると「幸」になるというフレーズが強く印象に残っています。

また、良いところが3つ見つけられると好きでいられるとも言っていました。文字が書けない事を伏せて結婚をした主人公でしたが、お互いがひとつの線を加えてくれて、幸せだと思える人生を過ごせたのだと思います。私自身も結婚34年になりますが夫の良い所を見つめ直して、これから残された人生を後悔しないよう過ごして幸せになりたいと思いました。また、「学びに遅いということはない」ということを肝に銘じて学び続けたいと思います。

《マジックショー》

たねあかしも教えてくれたため、自分もできるかもと思わせてくれた。

《やって欲しいこと》

映画観賞は継続してほしいと思います。

精一杯の愛でした。



その手紙は、

山戸田女性部映画観賞会

「35年目のラブレター」

山戸田女性部は、2026年2月22日山戸田中央集会所において、映画観賞会を行いました。内容は以下の通りであり、32名の参加者は「心温まる感動」と「ここでちょっと一息のお楽しみ」を満喫できた一日でした。

①映画鑑賞「35年目のラブレター」

心温まる感動の実話、読み書きできない夫と幸せを教えてくれた妻が歩んだ人生

②菅野和典さんによるマジックショー

③菅野キソさんの豆料理レシピ

《みなさんの声》

小手森順一さん

《35年目のラブレター》

夫婦のラブレターを読むシーン、感動しました。

短い時間に人生ドラマが詰まったとても素晴らしい映画でした。

《マジックショー》

心温まるマジックで良かったです。

《やって欲しいこと》

簡単スマホ教室、生け花教室。

菅野由美子さん

《35年目のラブレター》

夫婦愛、家族愛を強く感じました。

「学びを始めるのに年齢は関係ない」ことを映画を通して教えていただきました。

《マジックショー》

たねあかしがある優しいマジックショーは、初めてでした。菅野さんの芸が豊富な事に一番おどろきです。

ヒトシさんの一円玉のマジックはお見事でした。

菅野さん、ヒトシさん楽しい時間をありがとうございました。

《やって欲しいこと》

アロマワークショップ。

安田恭子さん

《35年目のラブレター》

久しぶりに映画を観て心温まるストーリーでした。

長い人生を夫婦共に歩んできた深い絆で結ばれていると共有でき、いくつになっても前向きでチャレンジする気持ちが心にグッときました。ピンチはチャンス、久しぶりに目頭が熱くなりました。

《マジックショー》

色々と考えてきてくれたマジックショーでした。

《やって欲しいこと》

おまかせです。

これからの若者 *No.4

「家族の元気に支えられ頑張ってる！」

須田友宣さん

私は昭和56年生まれ、今年44さいになります。昭和61年に私の父が建設会社を創業し、私は現在2代目を務めています。

県内に留めることなく、最近では県外での仕事も行っていきます。

私は、ICT施工を用いて仕事を行っています。ICT施工とは、図面を3次元化し、最新の重機と連携させることで、現場での省人化を実施することができる手法です。高齢化社会の中で若い人材が少なく、人手不足も重なり、ICT施工が私にとっては必須の施工法となっています。

そして、ICT施工に用いている重機は、左右の傾き45°、360°回転することのできるアタッチメントを搭載したものを現在2台保有しています。この重機とICTの融合により細かい作業も短時間でこなすことができるようになっていきます。ゆくゆくは、作業の自動化や無人化、遠隔操作により仕事が行われていくことになるでしょう。

私の仕事のやりがいは、**家族全員が元気よく、今と何も変わることなく過ごしている姿を目にすること**です。家族全員がこれから先楽しい日々を過ごすことのできるよう、日々精進していきたく思います。



これからの若者 *No.5

「地域の皆様に感謝し、

いちごから笑顔をお届けしたい！」

大橋由貴子さん

私は22歳で大橋家に嫁ぎ、早いもので18年が経ちました。右も左もわからないままこの地に飛び込んだ私を、時に厳しく、時に温かく見守り、今日まで育ててくださったのは、地域の皆様でした。40歳という節目を迎え、ハウスの中で真っ赤に実るいちごを見つめるたび、これまでの歩みは皆様の支えがあってこそだと、心から感謝の気持ちが溢れます。

現在、農業を取り巻く環境はかつてない試練の中にあります。肥料や資材、冬のハウスを暖める燃料費など、あらゆる物価が高騰し、経営を支える日々は決して平坦ではありません。この地で生まれるいちごの変わらぬ甘さを守り続けることの難しさを痛感する毎日です。それでも私が前を向き続けられるのは、皆様の「このいちごはおいしいね」という優しい一言があるからです。

一口食べた瞬間に、ぱっと心が明るくなるような「**いちごから笑顔**」を最高の形でお届けし、丹精込めて育てたいいちごを通して、この地に恩返しをしていきたいです。

これからも、大好きな家族とスタッフといちごと共に歩んでまいります。若輩者ではありますが、地域の皆様のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



【女性部 新役員紹介】

引地 八島 キヨミ	宮下・川原	小手森久美子	花水・柗窪	末永 美佐子
竹ノ内 須田 綾子	石橋	大橋 幸子	薄 木	菅野 由美子
土関 引地 春江	田中	阿部 薫		